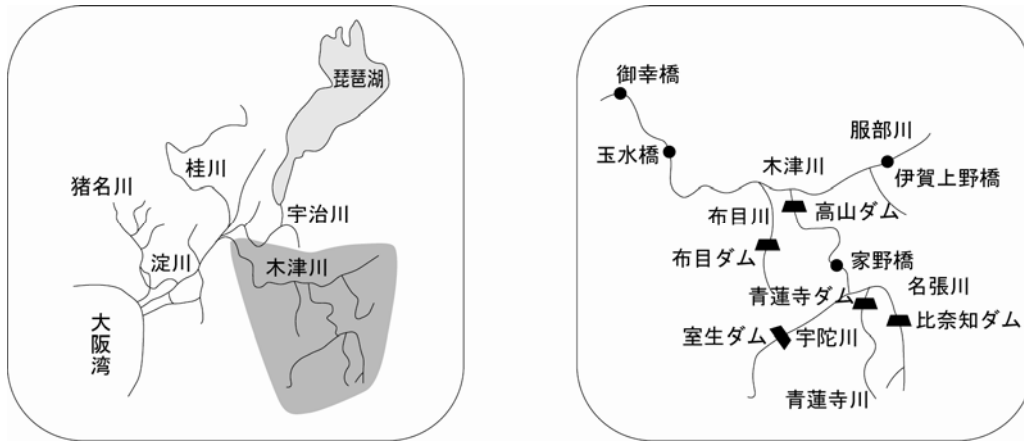


2. 木津川

木津川は、BODが平成4年度から平成8年度まで悪化傾向が見られたが、平成9年度以降改善傾向にある。上流のダム湖ではアオコや淡水赤潮の発生が確認されており、水質悪化の原因として、上流域での生活雑排水、畜産排水、ゴルフ場の開発などが考えられる。

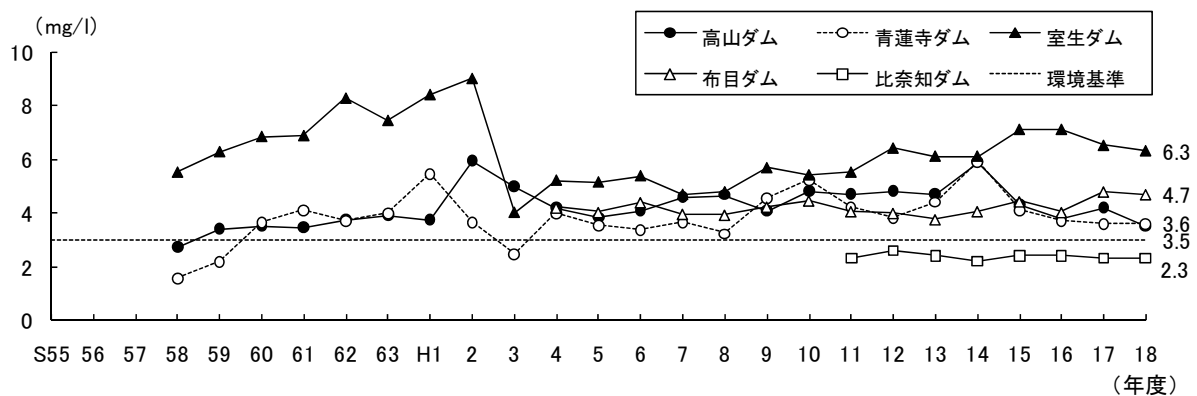


(1) 木津川上流のダム湖

平成18年度の5ダム湖の水質をみると、COD（75%値）は、室生ダムと高山ダムと布目ダムは前年度より減少し、それぞれ6.3mg/l, 3.5mg/l, 4.7mg/lであった。青蓮寺ダム及び比奈知ダムについては、前年度同じ値であった。

全窒素（年平均値）は、室生ダムと布目ダムと比奈知ダムで前年度より増加し、それぞれ3.72 mg/l, 1.25 mg/l, 0.70mg/lであった。高山ダムと青蓮寺ダムは前年度より減少し、1.46mg/lと0.88 mg/lであった。

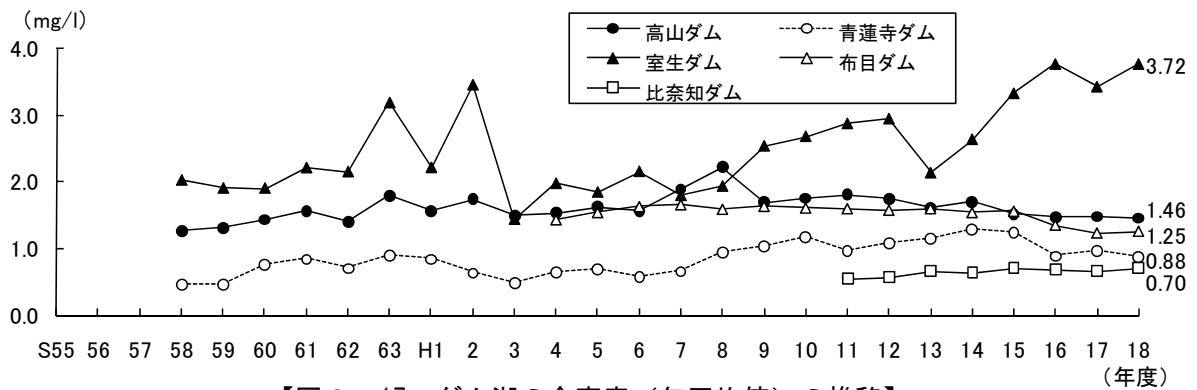
全リン（年平均値）は、高山ダムと布目ダムと室生ダムが前年度より増加し、それぞれ0.057 mg/l, 0.038 mg/l, 0.032mg/lであった。比奈知ダムは前年度と同じ0.012 mg/lであった。青蓮寺ダムは前年度より減少し、0.011mg/lであった。



【図3-16 ダム湖のCOD（75%値）の推移】

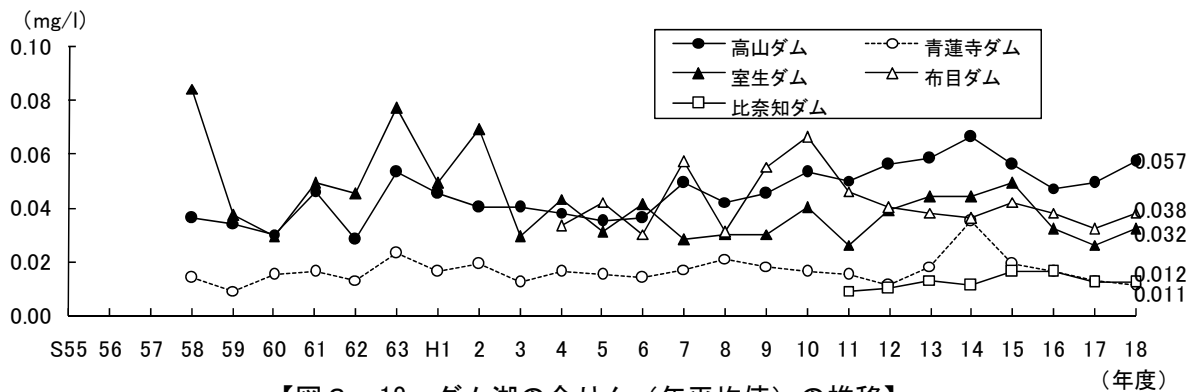
（環境基準は室生ダム・比奈知ダムのみ設定）

建設省河川局監修・日本河川協会編「1997日本河川水質年鑑」より作成
ただし、平成9～18年度については近畿地方整備局調べ
詳細は資料3-7を参照



【図3-17 ダム湖の全窒素（年平均値）の推移】

建設省河川局監修・日本河川協会編「1997日本河川水質年鑑」より作成
ただし、平成9～18年度については近畿地方整備局調べ 詳細は資料3-8を参照



【図3-18 ダム湖の全りん（年平均値）の推移】

建設省河川局監修・日本河川協会編「1997日本河川水質年鑑」より作成
ただし、平成9～18年度については近畿地方整備局調べ 詳細は資料3-9を参照

平成18年度は、青蓮寺ダム、布目ダムで淡水赤潮が発生し、青蓮寺ダム、室生ダムでアオコが発生した。また、異臭はどのダムでも発生しなかった。

【表3-1 ダム湖の富栄養化現象発生状況】

ダム名	種類	(年度)																								
		S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	
高山ダム	淡水赤潮																									
	アオコ																									
	異臭																									
青蓮寺ダム	淡水赤潮																									
	アオコ																									
	異臭																									
室生ダム	淡水赤潮																									
	アオコ																									
	異臭																									
布目ダム	淡水赤潮																									
	アオコ																									
	異臭																									
比奈知ダム	淡水赤潮																									
	アオコ																									
	異臭																									

布目ダムは平成4年度から、比奈知ダムは平成12年度から調査開始

建設省河川局監修・日本河川協会編「1997日本河川水質年鑑」より作成
ただし、平成9～18年度については近畿地方整備局調べ